TOSHIBA
Leading Innovation

MindTune 取扱説明書

安心してお使いいただくために

お買い求めいただいた製品（本製品）のご使用の前に、必ず取扱説明書をお読みください。

本書には、ご使用の際の重要な情報や、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。

本書は、必要なときにすぐに参照できるように、お手元に置いてご使用ください。お子様がお使いになるときは、保護者のかたが取扱説明書の内容をお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

本書では、本製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

表示の説明

表示	表示の意味
⚠ 危険	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示します。
⚠ 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*2）を負うことが想定されることを示します。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されることを示します。

*1：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の例

図記号	図記号の意味
禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

 指示	● は、指示する行為の強制（必ずやること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	△は、注意を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

免責事項について

- ❖ 地震、雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社はいっさい責任を負いません。
- ❖ 本製品および本製品に付属のソフトウェアの使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等について、当社はいっさい責任を負いません。
- ❖ 本製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社はいっさい責任を負いません。
- ❖ 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社はいっさい責任を負いません。
- ❖ 記憶装置（ハードディスク、CD/DVD など）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。大切なデータ等は、必ずお客様の責任の下、普段からこまめにバックアップされるよう願います。

- ❖ 本製品の保証条件は、同こんされている当社所定の保証書の規定をご覧ください。
- ❖ 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ❖ 本製品に関する最新情報は、次の情報サイトでご確認ください。
  URL : http://www.toshiba-tops.co.jp/e_shop/acessories/mindtune/index.html

安全上のご注意

本製品の取り扱いについて

⚠警告

❖ **もし、異常な音や臭いがしたり、過熱・発煙したときは、本製品をパソコン本体の USB コネクタから、すぐに取りはずす**

そのまま使用すると、火災・やけど・感電のおそれがあります。「お客様ご相談窓口」に点検を依頼してください。

指示

❖ **もし、本体を落としたり、強い衝撃を与えたときは、すぐに本体の電源ボタンを切る**

そのまま使用すると、火災・感電・故障のおそれがあります。点検・修理は、「お客様ご相談窓口」に依頼してください。

指示

❖ **もし、内部に水や異物等が入った場合は、すぐに本体の電源ボタンを切る**

そのまま使用すると、火災・感電・故障のおそれがあります。点検・修理は、「お客様ご相談窓口」に依頼してください。

指示

❖ **分解・改造・修理しない**

火災・感電・故障・けがのおそれがあります。点検・修理は、「お客様ご相談窓口」に依頼してください。

分解禁止

❖ **航空機に搭乗する際には、必ず電源を切る**

❖ **航空機内での使用は航空会社の指示に従う**

指示に従わずに使用すると運行装置に影響を与え、事故につながるおそれがあります。

指示

❖ **ビニール袋などの包装材料は乳幼児の手の届かないところに保管する**

口に入れたり、頭からかぶるなどして窒息のおそれがあります。

指示

❖ **運転中に本製品を使用しない**

運転中、外部の交通騒音や緊急信号音などの安全確認のために必要な音声が聞こえないと、事故につながるおそれがあります。

禁止

⚠警告

❖ **本製品に付属の USB アダプタは、乳幼児の手の届かないところで使用、保管する**

乳幼児が口に入れたり、誤って飲み込むと窒息のおそれがあります。万が一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

指示

❖ **本製品をパソコン本体の USB コネクタに接続する際は、確実に差し込む**

確実に差し込まないと、火災・感電のおそれがあります。

指示

⚠注意

❖ **本製品の近くに「花びん・コップ」などの水の入った容器や、「ステープル・クリップ」などの金属物を置かない**

異物（金属片・液体など）が本製品の内部に入ると火災・感電や故障の原因となります。

点検・修理は、「お客様ご相談窓口」に依頼してください。

禁止

❖ **ふろ場・シャワーなどの水がかかったり、湿度の高い場所あるいは屋外などの雨や霧が入り込む場所では使用しない**

火災・感電の原因となります。

禁止

❖ **ぬれた手で、取り付け・取りはずしをしない**

感電のおそれがあります。

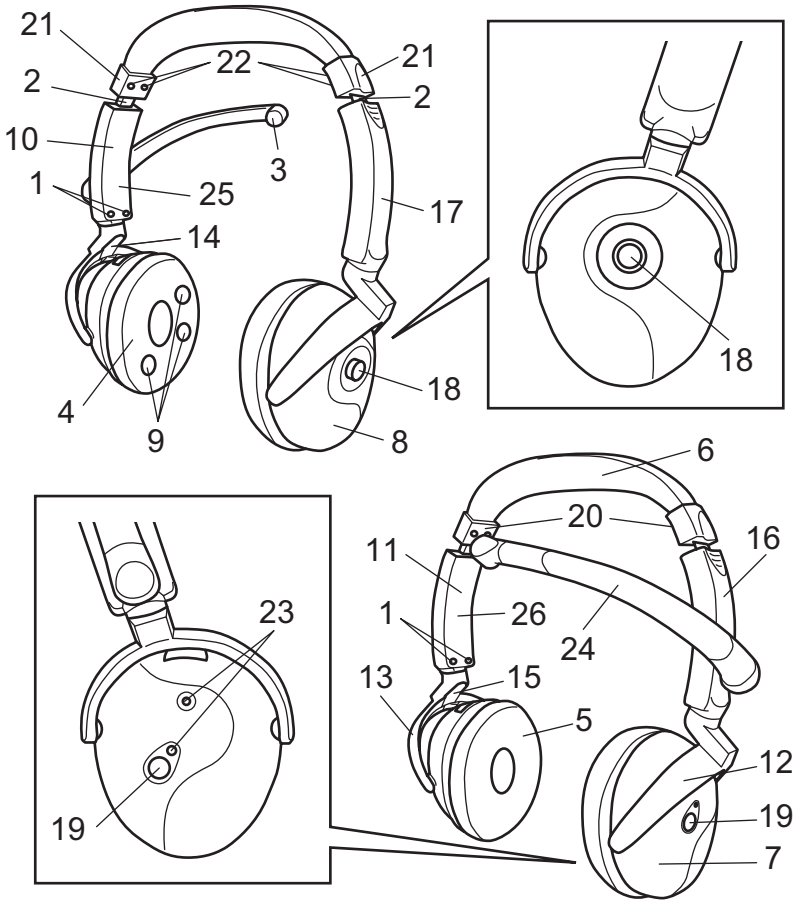
禁止

⚠ 注意

❖ 皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用を中止し、必ず皮膚科専門の医師へ相談する

本製品には、以下に記載の材料の使用や表面処理を施しております。これにより、まれに、お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

	使用箇所	使用材料、表面処理
1	ネジ	亜鉛メッキ
2	アーム	ステンレス鋼
3	センサーヘッド (額センサー部分)	ステンレス鋼
4	イヤパッド (左)	合成皮革 (ポリウレタン樹脂)
5	イヤパッド (右)	合成皮革 (ポリウレタン樹脂)
6	ヘッドバンドカバー	合成皮革 (ポリウレタン樹脂)
7	イヤカップ (左)	ABS 樹脂
8	イヤカップ (右)	ABS 樹脂
9	センサーヘッド (左耳パッドの接触点部分)	ステンレス鋼
10	アームスライドカバー (左)	ABS 樹脂
11	アームスライドカバー (右)	ABS 樹脂
12	フォーク (左)	ABS 樹脂
13	フォーク (右)	ABS 樹脂
14	フォークカバー (左)	ABS 樹脂
15	フォークカバー (右)	ABS 樹脂
16	アームカバー（左）	ABS 樹脂
17	アームカバー（右）	ABS 樹脂
18	メディアボタン	ABS 樹脂
19	電源ボタン	ABS 樹脂
20	ヘッドクリップ (上部)	ABS 樹脂
21	ヘッドクリップ (下部)	ABS 樹脂
22	ネジ	亜鉛メッキ
23	点灯窓	アクリル樹脂
24	センサーアーム	ABS 樹脂
25	定格銘板	PET - G フィルム
26	物理アドレスシール	グロス紙



❖ 持ち運ぶときに振り回さない

人やものにぶつけたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

❖ もし、落としたり、強い衝撃を与えたときは、使用を中止する

そのまま使用すると、火災・故障のおそれがあります。点検・修理は、「お客様ご相談窓口」に依頼してください。

指示

❖ 本製品を装着するときは、センサーの先端に注意する

目をついてけがの原因となることがあります。

指示

⚠ 注意

❖ **音量を上げすぎないよう注意する**

大きな音量で聴き続けると、難聴その他の障害の原因になるおそれがあります。周囲の人たちへの配慮も忘れないようにご留意ください。

❖ **本体の電源を入れ耳にあてる前に、本体のボリュームを最小にする**

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となるとことがあります。

❖ **長時間にわたって、使用しない**

通常の音量であっても長時間の使用によっては、難聴などになるおそれがあります。医学的にも悪影響が調査されています。

❖ **日本国内で使用する**

本製品は国内仕様です。電波規格違反となるので海外では使用しないでください。

❖ **強い衝撃を与えない**

そのまま使用すると、火災・故障のおそれがあります。点検・修理は、「お客様ご相談窓口」に依頼してください。

充電用 USB ケーブルの取扱について

⚠ 警告

❖ **バッテリーパックから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗った後、ただちに医師に相談する**

❖ **充電中に異臭・発熱・変形など異常が発生した場合は、すぐに本体の電源ボタンを切る**

充電用 USB ケーブルを使用して充電しているとき、異臭・発熱・変形など異常が発生した場合は、すぐに本体から充電用 USB ケーブルを抜いてください。

⚠ 注意

❖ **充電用 USB ケーブルを本体に接続した状態で、充電用 USB ケーブルを持ってヘッドホンを振り回したり引っ張ったりしない**

本体から充電用 USB ケーブルがはずれ、本体や充電用 USB ケーブルが破損するおそれがあります。

禁止

❖ **ぬれた手で充電用 USB ケーブルのプラグを抜き差ししない**

感電のおそれがあります。

禁止

無線通信について

⚠ 警告

❖ **付近に心臓ペースメーカを装着されている方がいる可能性がある場所では、使用しない**

電波によりペースメーカの動作に影響を与えるおそれがあります。

禁止

❖ **心臓ペースメーカの装着部から 22cm 以上離す**

電波によりペースメーカの動作に影響を与えるおそれがあります。

指示

❖ **病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは使用しない、また、医療用電気機器を近づけない**

電波が影響を及ぼし、誤動作により事故の原因となるおそれがあります。

禁止

❖ **自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使用しない**

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

❖ **航空機内および周辺に電波障害などが発生する場所では、使用しない**

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。詳しい内容は、各航空会社の指示に従ってください。

禁止

❖ **本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、使用を中止する**

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

指示

ご使用上のお願い

本製品の使用環境、保管場所および取り扱いについて

- ❖ 次の使用環境条件の場所でご使用ください。
  温度 5 ～ 35 ℃、湿度 20 ～ 80%
- ❖ 直射日光が当たる場所、しめ切った車の中、暖房機器の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。
  故障、誤動作の原因となります。
- ❖ 極端に低温になるところに置かないでください。
  故障、誤動作の原因となります。
- ❖ ほこりの多いところに置かないでください。
  故障、誤動作の原因となります。内部にほこりが入ったときは、「お客様ご相談窓口」に点検を依頼してください。
- ❖ 急激な温度変化を与えないでください。
  結露が生じ、故障、誤動作の原因となります。
- ❖ 磁石、スピーカ、テレビ、磁気ブレスレットなど磁気を発するものの近くで使用しないでください。
  事故・誤動作の原因となります。
- ❖ 製品の上に物を乗せたり、物を落としたりしないでください。
  破損・故障の原因となります。
- ❖ お手入れするときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。
  変質、変形、変色の原因となります。
- ❖ もし、落としたり、強い衝撃を与えたときは、使用を中止してください。
  そのまま使用すると、故障のおそれがあります。
  点検・修理は、「お客様ご相談窓口」に依頼してください。
- ❖ 本製品をカバンに入れて持ち運ぶ場合は、電源ボタンを off にしてください。

無線通信について

- ❖ 電子レンジのそばでは使用しないでください。
  通信性能の低下や通信エラーが発生することがあります。
- ❖ 金属製の机の上、金属物のそばでは使用しないでください。
  通信性能の低下や通信エラーが発生することがあります。

用途制限について

● 本製品は人の生命に直接かかわる装置等（*1）を含むシステムに使用できるよう開発・製作されたものではないので、それらの用途に使用しないこと

*1： 人の生命に直接かかわる装置等とは、以下のものをいいます。
- 生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器
- 有毒ガスなど気体の排出装置および排煙装置
- 消防法、建築基準法など各種法律を遵守して設置しなければならない装置など

● 本製品を、人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム（*2 ）に使用する場合は、システムの運用、維持、管理に関して、特別な配慮（*3）が必要となるので、当社営業窓口に相談してください。

*2： 人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステムとは、以下のようなものをいいます。
（原子力発電所の主機制御システム、原子力施設の安全保護系システム、その他安全上重要な系統およびシステム）
（集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システム）

*3： 特別な配慮とは、当社技術者と十分な協議を行い、安全なシステム（フール・プルーフ設計、フェール・セーフ設計、冗長設計する等）を構築することをいいます。

本製品のシリアル番号の転記について

本製品のパッケージの側面には「MT. . .」で始まる本製品のシリアル番号を記載したシールが貼られています。

本製品に付属の保証書に本製品のシリアル番号を転記して保存してください。

「お客様ご相談窓口」に本製品の修理・点検ををご依頼いただく際に、必要になります。

目次

安心してお使いいただくために 2
安全上のご注意 4
ご使用上のお願い 10
本製品のシリアル番号の転記について 11
ご使用になる前に 13
　本製品の通信範囲 14
　本製品の対応機器と対応システム 14
同こん物の確認 14
各部の名称 15
　MindTune 15
準備 17
　バッテリーについて 17
　バッテリーの充電 17
　Bluetooth 通信機能のセットアップ 19
MindTune を使う 21
　はじめてパソコンと接続する 21
　登録後の再起動でパソコンと接続する 23
　MindTune を装着する 24
　オーディオコントロール 26
　パソコンとの接続を切断する 26
ソフトウェアのインストール 27
　ソフトウェアをインストールする 27
Q&A 集 28
本製品の仕様 32
Bluetooth® について 33
NeuroSky の技術概要 37
廃棄について 40
お客様ご相談窓口のご案内 42

■ 本書で使用している用語について

Windows 7

Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版を示します。

Windows Vista

Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版を示します。

Windows XP

Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版を示します。

■ Trademarks

- ❖ Bluetooth は、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。
- ❖ Microsoft 、Windows 、Windows 7、Windows Vista、Windows XP は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

本書に記載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

ご使用になる前に

本製品は、Bluetooth 通信を利用したワイヤレスステレオヘッドホンです。

Bluetooth とは無線通信方式の 1 つです。本製品に付属の Bluetooth USB アダプタとセットで使用することで、ケーブルを使わずにパソコンで再生している音楽をワイヤレスで楽しめます。

本製品は、脳の活動信号をセンサーで感知・計測し、パソコンなどの装置を操作するブレインコンピューターインターフェース（Brain-Computer Interface: BCI）技術を用いております。

本製品で感知・計測される脳の活動信号の測定値は、個人差や環境条件によっても影響されるため、あくまで目安です。

脳の活動信号周波数のほかに、NeuroSky が独自に開発した eSense™ アルゴリズムによって、集中度（*1）/ 瞑想度（*2）を感知し、アプリケーションによって、視覚的に表現します。

*1： 集中度 (ATTENTION)：ユーザーの意識や興味が一点に集中している度合いを表します。

*2： 瞑想度 (MEDITATION)：ユーザーの意識が雑念から開放され、いわゆる「肩の力の抜けている」度合いを表します。
どちらも付属のエンターテインメントソフト独自の定義によるもので、一般的に言われる「集中力」や「平常心」の度合いとは異なることをご承知ください。

本製品は、医療用機器ではありません。医療行為には使用しないでください。

この製品は日本国内専用です。国外では使用できません。

This product isdesigned for use exclusively in Japan. Please do not use it in any other countries.

本製品の全部または一部は、「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資輸出規則製品に該当する可能性があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

本製品の通信範囲

本製品と接続する機器の通信可能範囲は見通し約 5m（最大）*1 以内です。

*1： 通信距離は目安です。周囲の電波環境、障害物、設置環境、通信接続相手の機器性能などにより異なります。

本製品の対応機器と対応システム

推奨するスペック、ソフト環境は次のとおりです。

OS	Microsoft® Windows® 7、Microsoft® Windows Vista®、Microsoft® Windows® XP
CPU	Intel® Core™ 2 Duo プロセッサー 1.5 GHz 以上
RAM	1.0 GB 以上
ビデオカード	DirectX 9.0 以上をサポートするビデオカード
ハードディスク空き容量	250MB
インターフェース	付属 USB アダプタ USB 2.0 または USB 1.1 準拠

同こん物の確認

- ❖ MindTune 本体 1 個
- ❖ 充電用 USB ケーブル 1 本
- ❖ USB アダプタ 1 個
- ❖ 取扱説明書（本書） 1 部
- ❖ アプリケーションソフトウェア CD 1 枚
  - ❖ 取扱説明書（本書）
  - ❖ アプリケーションソフトウェア
  - ❖ ドライバ
- ❖ 保証書 1 枚

各部の名称

ここでは、MindTune の各部の名称と機能について説明します。

MindTune

全体図

額センサー

額センサーは、脳の活動信号を受信する装置です。

センサーアーム

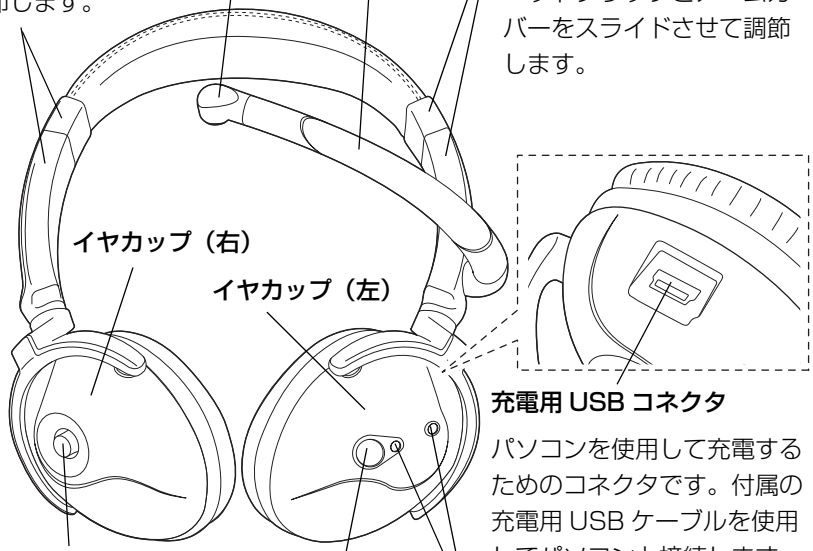
センサーアームは、額センサーを額に無理なく接触できるよう柔軟に曲げられます。

右アジャスタ

イヤカップ（右）の位置をヘッドクリップとアームカバーをスライドさせて調節します。

左アジャスタ

イヤカップ（左）の位置をヘッドクリップとアームカバーをスライドさせて調節します。



充電用 USB コネクタ

パソコンを使用して充電するためのコネクタです。付属の充電用 USB ケーブルを使用してパソコンと接続します。

メディアボタン

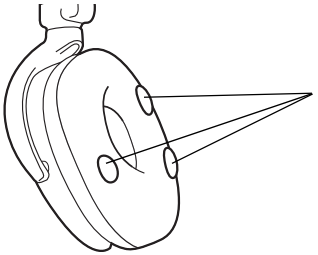
Bluetooth 機器との接続、メディア機器の操作に使用します。（機能の詳細は、「メディアボタン」を参照してください）

電源ボタン

インジケータ（青、赤）

MindTune の状態を示します。（状態の詳細は、「インジケータ」を参照してください）

左イヤパッド部



接触点

正確な脳の活動信号を読み取るため、耳の皮膚に接触するようにして、使用します。

インジケータ

インジケータの状態	MindTune の状態
青色が約 2 秒ごとに点灯	電源 ON
赤色と青色が交互に点灯	接続モード
青色が約 2 秒ごとに 3 回点灯の繰り返し	パソコンと接続中
赤色が点灯	バッテリー充電中
赤色が 5 秒ごとに点灯	バッテリー残量の低下（低残量）
消灯	❖電源 OFF ❖バッテリー充電完了（充電用 USB ケーブル接続中）

準備

バッテリーについて

MindTune には、バッテリーパックが内蔵されています。内蔵バッテリーを利用して、バッテリー駆動で使用します。

使用する前に、必ずバッテリーの充電（フル充電）を行ってください。

⚠ 注意

バッテリーパックの充電温度範囲内（5 ～ 35 ℃）で充電すること。
充電温度範囲内で、充電しないと、液漏れや発熱、性能や寿命が低下するおそれがあります。

お願い

- ❖ 必ず MindTune の電源を OFF にして充電してください。
- ❖ 充電用 USB ケーブルを使用して充電するときは、必ず本製品に付属の充電用 USB ケーブルを使用してください。その際、接続するパソコンは、必ず本製品の対応機器を使用してください。指定以外の充電用ケーブルやパソコンの使用は故障の原因となります。
- ❖ 製品に付属の充電用 USB ケーブルは、本製品専用の充電用ケーブルです。
  本製品の充電以外には使用しないでください。

バッテリーの充電

バッテリーを充電するには、パソコンのバスパワーサポートがされている USB コネクタと接続します。

バッテリーの充電時間

バッテリーの充電が完了するまでには、次の時間がかかります。

充電方法	時間
パソコンからの充電	最大：約 5 時間

⚠ 注意

充電中は、絶対に MindTune を装着しないでください。
故障の場合、感電・やけど・けがのおそれがあります。

お願い

- ❖ 必ず MindTune の電源を OFF にして充電してください。
- ❖ はじめて使用する場合は、フル充電してください。

パソコンと接続して充電する

充電用 USB ケーブルをパソコンに接続して充電します。

メモ

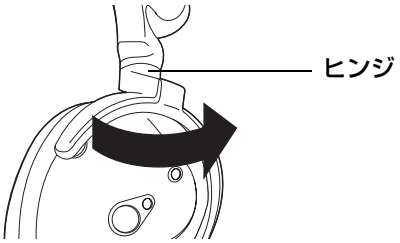
パソコンを使用して充電する場合、パソコンは AC アダプタと電源コードを接続することを推奨します。パソコンに電源が入っていない場合や省電力機能が働いている場合（スタンバイ、休止状態など）は、充電できません。

1 パソコンを起動する

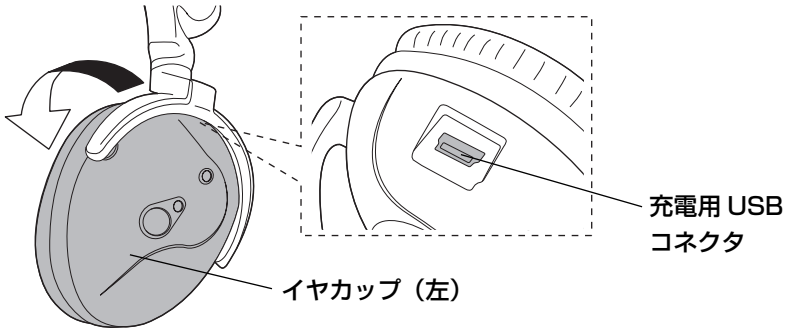
2 MindTune のイヤカップ（左）ヒンジを回転する

お願い

ヒンジの回転可動域は 90 度です。無理な回転をしないでください。



3 イヤカップ（左）を回転し、充電用 USB コネクタを露出する



お願い

充電用 USB コネクタに異物などが入らないようお取り扱いにはご注意ください。

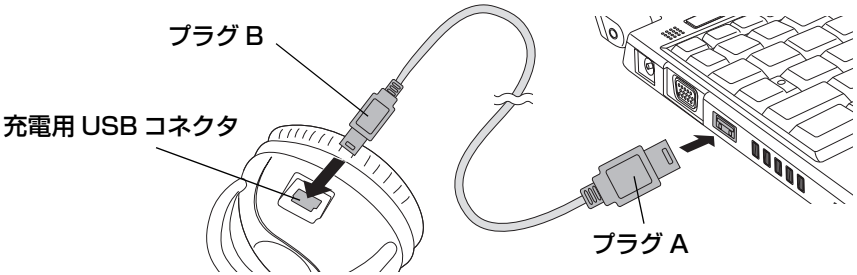
異物（金属片・液体など）が本製品の内部に入ると火災・感電や故障の原因となります。

4 充電用 USB ケーブルのプラグ B を充電用 USB コネクタに差し込む

5 充電用 USB ケーブルのプラグ A をパソコンの USB コネクタに差し込む

インジケータが赤色に点灯します。

充電が完了（フル充電）すると、インジケータが消灯します。インジケータが消灯したら、充電用 USB ケーブルを取りはずしてください。



使用できる時間

バッテリー駆動で使用できる時間は、使用方法や環境によって変動する場合があります。次の時間は、フル充電での状態で使用した場合の目安です。

モード	動作時間
パソコンと接続中	約6時間（常温）

メモ

- ❖ MindTune を使用せずに放置していても、バッテリー充電量は少しずつ減っていきます。長時間放置しておいた場合は、使用する前に必ずバッテリーの充電を行ってください。
- ❖ 充電・放電を繰り返すうちに使用できる時間は徐々に短くなります。フル充電をしても、バッテリー駆動の使用時間が極端に短くなった場合は、バッテリーパックの寿命が考えられます。本製品はバッテリーパックの交換に対応しておりません。新規製品の買い替えをおすすめします。

お願い

分解、バッテリーパックの交換等の改造を決して行わないでください。故障の原因になります。改造した場合の動作保証、修理の対応はできません。

Bluetooth 通信機能のセットアップ

Bluetooth 通信機能をセットアップします。

メモ

本製品をご使用の際は、付属の USB アダプタをご使用ください。

お願い　ドライバ（[Bluetooth Stack for Windows by Toshiba] ）のインストールを行う前に、Bluetooth USB アダプタをパソコンに差し込まないでください。

1　添付の CD-ROM から [Bluetooth Stack for Windows® by Toshiba] をインストールする

パソコン本体に、[Bluetooth Stack for Windows by Toshiba] が用意されている場合は、次の画面が表示されます。古いバージョンの場合には、[OK] ボタンをクリックしてアップデートしてください。

自動セットアップ

1　添付の CD-ROM をパソコンのオプティカルドライブにセットする

インストール画面が表示されます。

2　ソフトウェアのインストールを選択 (クリック) する

3　ソフトウェアインストール画面から[Bluetooth Stack for Windows by Toshiba] を選択 (クリック) する

4　画面の指示に従ってインストールを行う

手動セットアップ

1　添付の CD-ROM をパソコンのオプティカルドライブにセットする

インストール画面が表示されない場合は、CD-ROM 内の Menu.exe をダブルクリックしてください。

2　ソフトウェアのインストールを選択 (クリック) する

3　ソフトウェアインストール画面から[Bluetooth Stack for Windows by Toshiba] を選択 (クリック) する

4　画面の指示に従ってインストールを行う

すでに、[Bluetooth Stack for Windows by Toshiba] がインストールされている場合は、バージョンが表示されます。新しいバージョンがすでにインストールされている場合は、インストールをする必要はありません。

5　画面の指示に従ってパソコンの USB コネクタに USB アダプタを差し込む

Bluetooth 通信機能を持ったノートパソコンとデスクトップパソコンの場合は、次の手順に進んでください。

6　パソコンを再起動する

MindTune を使う

はじめてパソコンと接続する

1 MindTune の電源を入れる

電源ボタンを約 2 秒間、またはインジケータが青色に点滅するまで押してください。

2 メディアボタンを約 3 秒間押す

インジケータが赤色と青色に交互に点灯するまで押してください。

3 [スタート] → [すべてのプログラム] → [TOSHIBA] → [Bluetooth] → [Bluetooth 設定] を起動する

[Bluetooth 設定] が起動します。

はじめて起動するとき、または、通信を行うことができる他の Bluetooth 対応機器が登録されていないときは、[新しい接続の追加ウィザード] 画面が表示されます。

[新しい接続の追加ウィザード] 画面が表示された場合は、手順 5 に進んでください。

4 [新しい接続] ボタンをクリックする

[新しい接続の追加ウィザード] 画面が表示されます。

5 [エクスプレスモード] を選択し [次へ] ボタンをクリックする

近くにある Bluetooth 機器の検索を開始します。

[新しい接続の追加ウィザード] が完了すると、[Bluetooth 設定] の画面が表示され、MindTune の接続アイコン (ヘッドホンと COM ポート）が 2 つ表示されます（MindTune（ヘッドホン接続) が自動接続されます)。

MindTune が自動接続されない場合は、手順6に進んでください。

6 [MindTune] アイコンをダブルクリックする

接続が確立すると、Bluetooth マネージャが [**MindTune**] に接続するためのパスキー（PIN）を要求する場合があります。

パスキーボックスに [0000] と入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。

メモ

- ❖ MindTune が正常に検出されず、[新しい接続の追加ウィザード] が正常に終了しない場合は、MindTune の電源を切り、[Bluetooth 設定] を終了して、手順 1 からやり直してください。
- ❖ COM ポート接続は、COM ポートを使用するアプリケーションが起動されると自動接続されます。

MindTune が登録され、MindTune とパソコンが接続されました。

接続後は MindTune のボタンで停止や早送りなどの操作ができます。

メモ

- ❖ MindTune の登録が完了と同時に接続状態になります。
- ❖ MindTune は自動接続になっています。自動接続を解除することもできます。
- ❖ 接続登録後は、ご使用の際に本製品の電源ボタンを ON にするだけで自動的に再接続されます。

  自動的に接続されない場合は、[Bluetooth 設定] を起動し、アイコンをダブルクリックすると接続されます。

登録後の再起動でパソコンと接続する

1 **MindTune の電源を入れる**

電源ボタンを約 2 秒間またはインジケータが青色に点滅するまで押します。

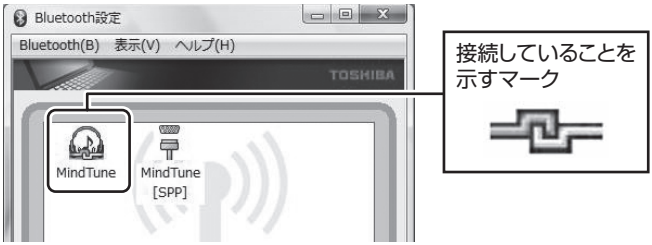
2 **［スタート］→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［Bluetooth］→［Bluetooth 設定］を起動する**

[Bluetooth 設定] が起動します。

3 **MindTune の接続アイコン (ヘッドホンと COM ポート）をダブルクリックする**

接続が確立すると、アイコンが接続状態に変わります。

アイコンが次のようになったら接続が完了です。



MindTune を装着する

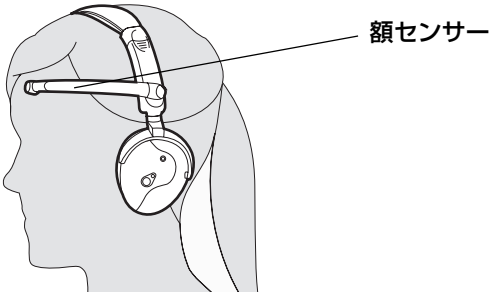
MindTune は、頭部に装着して使います。

⚠注意

- ❖ MindTune は、正確な脳の活動信号を読み取るため正しく装着してください。
- ❖ 左右のアジャスタを調節する際、手や指などを挟んだり、傷つけたりしないようにご注意ください。
- ❖ MindTune を装着する際、手や指、顔を傷つけないようご注意ください。
- ❖ MindTune を装着する際、アームに身体の一部を挟まないようにしてください。けがをするおそれがあります。
- ❖ MindTune を装着する際、アームに手や指、顔などを挟まないようにしてください。手や指、顔を傷つける可能性があります。

1 センサーアームが左側になるように MindTune を持ち、頭部に装着する

左右のイヤカップ、額センサーが適切な位置にあるか確認をしてください。調節するには、MindTune を取りはずし、調節してください。



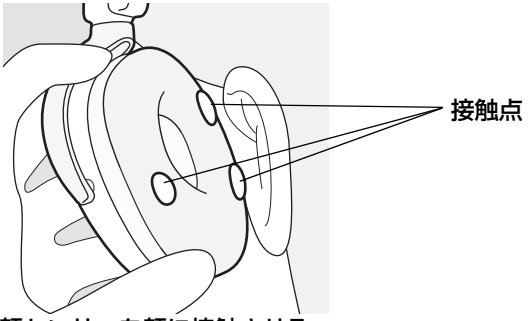
お願い センサーアームを無理に曲げないでください。

メモ

- ❖ イヤカップの位置を調節する場合は、左右のアジャスタを調整します。
- ❖ 額センサーの位置を調節する場合は、センサーアームを曲げて調節します。

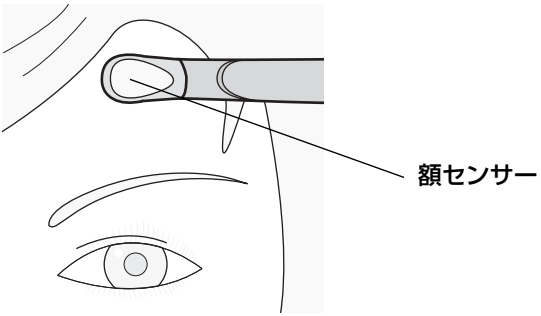
2 右イヤパッド部の接触点を耳の皮膚に接触させる

正確な脳の活動信号を読み取るため、接触点は耳の皮膚に接触させてください。接触点と皮膚の間に、髪の毛や異物などが挟まらないように注意してください。



3 額センサーを額に接触させる

脳の活動信号を正しく測定するため、常に額センサーを額に接触させるよう調整してください。センサーと皮膚の間に、髪の毛や異物などが挟まらないように注意してください。



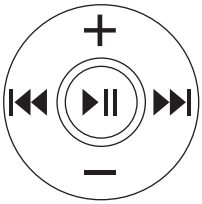
お願い

❖ MindTune を使用し、信号を受け取れない場合は、額センサーや、接触点が正しく皮膚と接触しているか確認してください。

オーディオコントロール

MindTune のボタンと機能は次のとおりです。

メディアボタン



ボタン名	操作	機能
ファンクション（⏯）	ボタンを押し続ける	Bluetooth 機器との接続（ペアリング）を行う
	ボタンを押す	再生／一時停止
ボリューム（+）	上に動かす（+）	ボリュームを上げる
ボリューム（−）	下に動かす（−）	ボリュームを下げる
BWD-Skip（⏮）	左に動かす（⏮）	前の曲／チャプターの先頭に戻る
FWD-Skip（⏭）	右に動かす（⏭）	次の曲／チャプターへ進む

パソコンとの接続を切断する

MindTune とパソコンの切断方法は次のとおりです。

MindTune から切断する

1 アプリケーションが起動している場合は終了する

2 MindTune の電源を切る

パソコンから切断する

1 アプリケーションが起動している場合は終了する

2 パソコンの [Bluetooth 設定] で、接続しているモードのアイコンを右クリックし、表示メニューから [切断] をクリックする

3 切断の確認メッセージで、[はい] ボタンをクリックする

接続が切断されると、アイコンが切断状態に変わります。

4 MindTune の電源を切る

ソフトウェアのインストール

本製品には、本製品の機能を最大限に活用できる次のソフトウェアが添付されています（CD-ROM に収録）。

❖ MindTune ビジュアライザ
詳細については、付属の「MindTune ビジュアライザ取扱説明書」を参照してください。

❖ ニューロボーイ
詳細については、付属の「ニューロボーイ取扱説明書」を参照してください。

ソフトウェアをインストールする

1 **添付の CD-ROM をパソコンのオプティカルドライブにセットする**

インストール画面が表示されます。

インストール画面が表示されない場合は、CD-ROM 内の Menu.exe をダブルクリックしてください。

2 **ソフトウェアインストールを選択 (クリック) する**

3 **ソフトウェアインストール画面からインストールしたいソフトウェアアプリケーションを選択する**

4 **画面の指示に従ってインストールを行う**

メモ　各ソフトウェアアプリケーションの取扱説明書も、メニュー画面から利用できます。

Q&A 集

Q. 電源が入らない

A. **バッテリーの残量が少なくなっている可能性があります。**

バッテリーを充電してください。

Q. パソコンと接続できない

A. **パソコンの電源が入っていない可能性があります。**

電源を入れ、Bluetooth 通信が可能な状態にしてください。

A. **MindTune と接続するための設定がされていない可能性があります。**

はじめてパソコンと接続する場合、パソコン側で設定が必要です。接続設定を行ってください。

参照）詳細について「はじめてパソコンと接続する」

A. **MindTune と接続するための設定が正しくされていない可能性があります。**

接続設定を確認してください。

参照）詳細について「はじめてパソコンと接続する」

A. **MindTune とパソコンの間に遮蔽物がある、または距離が遠い可能性があります。**

遮蔽物を取り除くか、別の場所で接続してください。また、使用可能範囲内で接続してください。

A. **他のパソコンと接続している可能性があります。**

MindTune と接続できるパソコンは 1 台だけです。また、MindTune から接続できるのは前回接続したパソコンのみです。接続したいパソコンで接続しなおしてください。

参照）詳細について「はじめてパソコンと接続する」

Q. 接続が切れてしまう／接続できない

A. MindTune とパソコンとの間に遮断物がある、または距離が遠い可能性があります。

遮断物を取り除くか、別の場所で接続してください。また、使用可能範囲内で接続してください。

参照）詳細について「ご使用になる前に - 本製品の通信範囲」

A. MindTune とパソコンを接続する前に、音声に関するアプリケーション（音楽／ビデオ再生など）が起動していた可能性があります。

アプリケーションを終了して、MindTune とパソコンを接続した後に再度アプリケーションを起動してください。

A. MindTune 以外の Bluetooth 機器が接続されている可能性があります。

MindTune 以外の Bluetooth 機器を使用している場合は、使用しないでください。

A. パソコン内蔵の Bluetooth を使用している可能性があります。

その場合は、パソコン内蔵の Bluetooth をディセーブルにして、付属の USB アダプタを使用して接続しなおしてください。

Q. パソコンで再生している音楽が聞こえない

A. 何らかの理由で接続が切断された可能性があります。

もう一度接続してください。

参照）詳細について「はじめてパソコンと接続する」

A. MindTune のボリュームが最小になっている可能性があります。

MindTune の [ボリューム（+）] ボタンでボリュームを上げてください。

参照）詳細について「メディアボタン」

A. パソコン側の出力音量が最小、またはミュートに設定されている可能性があります。

MindTune を接続し、パソコンのタスクバーの [音量] アイコンをダブルクリックして表示される画面で、ミュート解除および音量調節を行ってください。

参照）詳細について「パソコンに付属の説明書」

A. パソコンに他の Bluetooth 対応機器が接続されている可能性があります。

他の Bluetooth 対応機器との接続を切断してください。

参照）詳細について「パソコンに付属の説明書」

Q. パソコンで再生している音楽を MindTune のボタンで操作できない

A. [Bluetooth Stack for Windows by TOSHIBA] で [AV コントロールサービス] が無効になっている可能性があります。

次の手順で設定を有効にしてください。

1 タスクバーの [Bluetooth マネージャ] アイコンを右クリックする

2 表示されたメニューから [オプション] をクリックする

3 [AV リモートコントロールサービス] をチェックし、[OK] ボタンをクリックする

Q. 雑音が多い／音がひずむ／音が途切れる

A. 接続したパソコンの出力音量が小さすぎる可能性があります

パソコン側の出力音量を調節してください。

参照）詳細について「パソコンに付属の説明書」

A. MindTune とパソコンの距離が遠い可能性があります。

距離を近づけてください。

A. パソコンで負荷の高い処理が実行されている可能性があります。

パソコン上の不要なアプリケーションを終了してください。

A. パソコンに他の Bluetooth 対応機器が接続している可能性があります。

他の Bluetooth 対応機器との接続を切断してください。

参照）詳細について「パソコンに付属の説明書」

A. 使用環境により電波が届きにくくなっている可能性があります。

別の場所で使用してください。

Q. 集中度／瞑想度メーターが動かない

A. MindTune と接続するための設定が正しくされていない可能性があります。

接続設定を確認してください。

参照）詳細について「はじめてパソコンと接続する」

A. センサーが正常に動作していない可能性があります。

MindTune がパソコンへデータを送っているか確認をしてください。

MindTune ビジュアライザから次の手順で確認できます。

1 [ESC] キーで設定パネルを表示する

2 「出力データの表示」を選択する

3 [ESC] キーで設定パネルを閉じる

画面左上に数字が表れ常に更新されていれば、MindTune はパソコンにデータを送っていることが確認できます。

集中度／瞑想度メーターが初期化されるまで約 10 秒待ち、メーターが動くかどうか確認してください。

参照）詳細について「eSense メーター - 一般情報」

A. 左イヤパッドの接触点と額センサーが皮膚に接触していない可能性があります。

- ❖ 額センサーや、接触点が正しく皮膚と接触しているか確認してください。
- ❖ センサーと接触点に汚れがないか確認してください。
- ❖ MindTune が信号を確認するまでには、約 4 秒かかります。信号確認時は動かないようにしてください。

本製品の仕様

MindTune 本体		
製品名		MindTune
型番		PX3809N-1ETC
Bluetooth	バージョン	Ver1.2 規格準拠
	無線周波数帯	2.4GHz (2402 ～ 2480MHz)
	変調方式	周波数ホッピング方式、 2 値 FSK
	送信出力 *1	最大 +4dBm（Power Class2）
	通信距離 *2	見通し 約 5m（最大）
PIN コード		0000
出力		ヘッドホンスピーカ出力
外形寸法（本体）		約 155（W）× 215（D）× 70（H）mm（突起部含まず）
質量		約 210g
充電方法		USB ケーブル
USB ケーブル長		約 150mm
使用環境条件	温度	5 ～ 35 ℃
	湿度	20 ～ 80%（但し、結露しないこと）
対応 OS		Microsoft® Windows® 7 / Microsoft® Windows Vista®/Microsoft® Windows® XP

USB アダプタ		
Bluetooth	バージョン	V2.1+EDR 規格準拠、V1.2 互換、V1.0b 非互換
	無線周波数帯	2.4GHz (2402 ～ 2480MHz)
	変調方式	周波数ホッピング方式、 2 値 FSK
	送信出力 *1	最大 +4dBm（Power Class2）
	通信距離 *2	見通し 約 5m（最大）
インターフェース		USB1.1
外形寸法（本体）		約 15.6（W）× 18.6（D）× 5.5（H）mm(突起部含まず)
質量		約 2g
使用環境条件	温度	5 ～ 35 ℃
	湿度	20 ～ 80%（但し、結露しないこと）

*1： アンテナの効率は含まれません。

*2： 通信距離は目安です。周囲の電波環境、障害物、設置環境、通信接続相手の機器性能などにより異なります。

Bluetooth® について

●無線特性

無線機器の通信範囲と転送レートには相関関係があります。無線通信の転送レートが低いほど、通信範囲は広くなります。

メモ

- ❖ アンテナの近くに金属面や高密度の固体があると、無線デバイスの通信範囲に影響を及ぼすことがあります。
- ❖ 無線信号の伝送路上に無線信号を吸収または反射し得る " 障害物 " がある場合も、通信範囲に影響を与えます。

● MindTune、USB アダプタを日本でお使いの場合のご注意

日本では、本製品を第二世代小電力データ通信システムに位置付けており、その使用周波数帯は 2,400MHz ～ 2,483.5MHz です。この周波数帯は、移動体識別装置（移動体識別用構内無線局及び移動体識別用特定小電力無線局）の使用周波数帯 2,427MHz ～ 2,470.75MHz と重複しています。

【注意文言ステッカー】

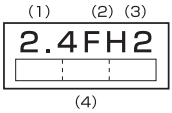
この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア 無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1　この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2　万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

3　その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、東芝　PX 型番周辺機器　国内サポートセンターへお問い合わせください。

【現品表示】



(1) 2.4 ：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す。

(2) FH ：変調方式が FH-SS 方式であることを示す。

(3) 2 ：想定される与干渉距離が 20m 以下であることを示す。

(4) ：2,400MHz ～ 2,483.5MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味する。

●機器認定表示について

本製品 (付属の USB アダプタを含む) は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、技術基準適合証明を受けております。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

❖ 本製品を分解／改造すること

無線設備名：MindTune
株式会社 ディーエスピーリサーチ
認証番号 003WWA100597

無線設備名：GUBTCR42I
Compliance Certification Services(CCS) 社
認証番号：204WW31001300

●ユーザーに対するお知らせ

【無線製品の相互運用性 】

本製品は、Frequency Hopping Spread Spectru（FHSS）無線技術を使用するあらゆる Bluetooth ワイヤレステクノロジを用いた製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

❖ Bluetooth Special Interest Group 策定の Bluetooth Specification Version 1.2 および 2.1+EDR

❖ Bluetooth Special Interest Group の定義する Bluetooth ワイヤレステクノロジの Logo 認証

お願い

本製品はすべての Bluetooth ワイヤレステクノロジを用いた機器との接続動作を確認したものではありません。

ご使用にあたっては、Bluetooth ワイヤレステクノロジを用いた機器対応の動作条件と接続の可否情報を取扱元にご確認ください。

また以下の取り扱い上の注意点があります。

(1) 本製品は Bluetooth Version1.2 および 2.1+EDR 仕様に準拠しております。

Bluetooth Version1.0B 仕様の Bluetooth ワイヤレステクノロジを用いた機器とは互換性がありません。

(2) Bluetooth 接続においては、無線 LAN その他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所その他、電波状態の悪い環境で使用した場合、接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生したりする可能性があります。

(3) Bluetooth と無線 LAN は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いの Bluetooth、無線 LAN のいずれかの使用を中止してください。

(4) 重要なデータを送受信した後には、必ずデータ内容の確認をしてください。

万が一データの変化や消失が確認された場合には、再度送受信を実施して、再びデータ内容の確認を行ってください。また、データの変化や消失を防ぐため、重要なデータは、元となるデータを他の記録装置に保管（バックアップ）しておくことをおすすめします。

(5) 本製品は、無線通信時のセキュリティ対策として、Bluetooth の標準仕様に準拠したセキュリティ機能を搭載しています。

しかし、本製品の使用環境によっては、上記セキュリティが十分でない場合があります。このため、お客様ご自身でも、Bluetooth によるデータ通信の際は十分にご注意戴き、セキュリティ対策を施されますよう、お願い致します。

弊社は、Bluetooth によるデータ通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につき、一切の責任を負いません。

■使用上の制限について

本製品は、日本国内でのみ使用することができます。

日本国以外の地域では、使用しないでください。

また、日本国内であっても航空機内に持ち込む場合は、航空機内の計器類に影響を及ぼすおそれがあるので、本製品の電源をお切りください。

同様に、電子機器や医療機器（例えばペースメーカ）などに影響を及ぼすおそれがあるので、病院など無線機器の使用が禁止されている所では、使用しないでください。

【健康への影響 】

Bluetooth ワイヤレステクノロジを用いた製品は他の無線製品と同様、無線周波の電磁エネルギーを放出します。しかしその放出エネルギーは、携帯電話などの無線機器と比べるとはるかに低いレベルに抑えられています。

ただし、周囲の状況や環境によっては、建物の所有者または組織の責任者が Bluetooth ワイヤレステクノロジの使用を制限する場合があります。以下にその例を示します。

- ❖ 飛行機の中で Bluetooth ワイヤレステクノロジを用いた製品を使用する場合
- ❖ 他の装置類またはサービスへの電波干渉が認められるか、有害であると判断される場合

個々の組織または環境（空港など）において無線機器の使用に関する方針がよくわからない場合は、Bluetooth ワイヤレステクノロジを用いた装置の電源を入れる前に、管理者に使用の可否について確認してください。

NeuroSky の技術概要

脳の活動信号

20 世紀の神経科学研究によって、脳、特に神経によって脳から発される電気的信号について実に多くのことが解明されました。このような電気的信号のパターンと周波数は、頭皮にセンサーを取り付けることによって測定することができます。MindTune では、一般的に脳の活動信号と呼ばれるアナログの電気的信号を測定し、これらをデジタル信号に変換してゲームやアプリケーションに利用できる測定値を生み出す NeuroSky ThinkGear™ テクノロジーが使用されています。

以下の表には、脳内の多様な活動によって生成されやすく一般に広く認識されている周波数についての概要を示しています。

脳の活動信号タイプ	周波数	気分の状態
デルタ	0.5 ～ 3Hz	深い眠り。
シータ	3 ～ 8Hz	夢を見ている。眠気。深い瞑想。
アルファ	8 ～ 12Hz	肩の力の抜けた状態。前向きな思考。警戒ではない注意。
ベータ	12 ～ 30Hz	覚醒。集中。警戒。
ガンマ	30 ～ 60Hz	記憶、認知力の高まり。不安。心配。

ThinkGear

ThinkGear™ は、着用者の脳の活動信号とデバイスの連動を可能にするすべての MindTune 製品に使用されているテクノロジーです。

額部分に接触するセンサー、イヤパッドにある接触点、すべてのデータを処理するオンボードチップが含まれます。ThinkGear チップが原脳の活動信号および eSense メーター（集中度と瞑想度）の両方を計算します。

eSense アルゴリズム

eSense™ は NeuroSky が独自に開発した、心理状態を描写するアルゴリズムです。eSense の計算のため、NeuroSky ThinkGear テクノロジーが脳の活動信号を増幅し、環境雑音と筋肉の動きを除去します。その後、eSense アルゴリズムが残った信号に適用され、集中度・瞑想度メーター値に変換されます。集中度・瞑想度メーター値は正確な数値を示すものではなく、活動の範囲を示すものです。

eSense メーター - 一般情報

eSense メーターは、集中度または瞑想度の度合いを表示します。

運動不足の筋肉を動かすように、集中度・瞑想度メーターをそれぞれを完全に制御するにはしばらく時間がかかることがあります。多くの場合、最初は集中度 / 瞑想度どちらかを選んでコントロールしてください。ひとつのメーターをうまく制御できるようになるまで、さまざまなやり方を試してみることをおすすめします。画面に反応が現れれば、さらに練習することでより容易に同じアクションを行うことができるようになります。

一般的に、集中度は視覚的な集中によってコントロールできます。ひとつの主題に集中してください。自分の集中力を「一点に集中」させ、思考をすべてメーターの値を上げることに集中してください。その他のアドバイスとしては、画面上で凝視するポイントを決めることや、達成しようとしているアクションが起こることをイメージすることです。例えば、集中度メーターを見つめて、ダイヤルが上の数字に上がっていくことをイメージします。

瞑想度の場合、穏やかな気持ちになって気分を落ち着かせてください。瞑想度を反応させるのが難しい場合は、目を閉じて、数秒数えてから目を開け、メーターの反応を見てください。

eSense メーター - 技術概要

各種メーターごとに（集中度、瞑想度）メーター値が 0 ～ 100 の段階で表示されます。40 ～ 60 の値が「中間」と考えられます。これは従来の脳の活動信号測定手法でいう「ベースライン」に近いものです（ただし、ThinkGear のベースライン判定方法は独自のものであり、従来の脳の活動信号とは異なる場合があります）。

60 ～ 80 の値は「やや高め」で、通常値よりも高いレベルと解釈されます（ユーザーの通常値よりも高い集中度または瞑想度のレベル）。80 ～ 100 の値は「高」で、当該メーターレベル高揚を示す強い指標です。

同じように、メーターの反対側については、20 ～ 40 の値はメーターレベルが「低」になっていることを示し、0 ～ 20 の値はメーターのレベルが「非常に低い」ことを示します。これらのレベルは、各メーターの反対側の値に対応して、注意散漫、動揺、異常の状態を示します。

それぞれの解釈範囲が広くなっているのは、人間の脳の活動信号が一定範囲の不一致・変動の影響を受けるという点を考慮し、これを補正するために、eSense アルゴリズムの一部が自動的に学習し、ユーザーごとの自然変動や傾向に適応するため部分的に「漸次適応」アルゴリズムを採用しているためです。これは、ThinkGear が優れた精度と信頼性を確保しつつ、極めて広範囲の個人的・環境的条件下で多くの個人に対応することができる理由のひとつでもあります。

集中度メーター

集中度（ATTENTION）は、ユーザーの意識や興味が一点に集中している度合いを表します。この値は、0 ～ 100 の範囲で表されます。

レベルの解釈全般に関する詳細は、eSense メーター - 一般情報を参照してください。

瞑想度メーター

瞑想度（MEDITATION）は、ユーザーの意識が雑念から開放され、いわゆる「肩の力の抜けている」度合いを表します。この値は、0 ～ 100 の範囲で表されます。

瞑想度は、脳内のアクティブな精神過程の活性低下に関係します。目を閉じると目から入ってくる映像を処理する精神活動が停止するということは、長く観察されてきた効果です。多くの場合、瞑想度のメーターレベルを上げる方法として、目を閉じるのが効果的です。

メーターレベルの解釈全般に関する詳細は、eSense メーター - 一般情報を参照してください。

廃棄について

廃棄について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体に問い合わせてください。

消耗品について

バッテリーパックは消耗品です。バッテリーパックの交換対応はしていません。

バッテリーパックについて

不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。その場合、ショート防止のため 2 本の電線それぞれの先端にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってください。

❖ バッテリーパック（充電式電池）の回収、リサイクルについてのお問い合わせ先
一般社団法人 JBRC
TEL ：03-6403-5673
URL ：http://www.jbrc.com

【取りはずしかた】

本製品はバッテリーパックを内蔵しています。
本製品を廃棄するときは、次の手順でバッテリーパックを取りはずしてください。
取りはずしには、工具（ドライバーなど）が必要な手順があります。

⚠ 警告

❖ 分解後は使用しない

火災・感電・故障・けがのおそれがあります。分解した場合、以後の動作保証、修理対応はできません。

❖ 本製品以外のバッテリーは使用しない

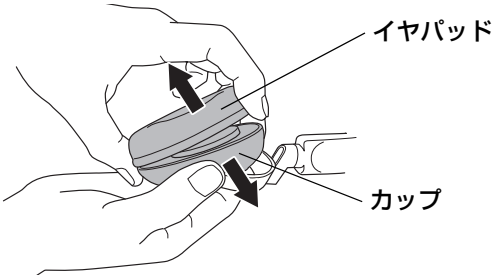
火災・感電・故障・ケガのおそれがあります。分解・改造・修理した場合、以後の動作保証、修理対応はできません。

1 右側のイヤパッドをはずす

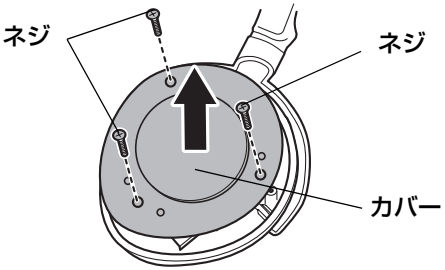
右側（電極がない方）のイヤパッドとカップの両方に力を入れて引っ張ります。

メモ

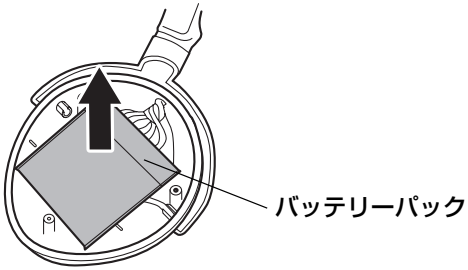
取れない場合は、マイナスドライバーなどを差込み、てこにして開けます。



2　ネジ 3 本をはずし、カバーを取りはずす



3　バッテリーパックを取り出す



4　バッテリーパックと本体をつないでいる赤と黒の電線を切る

バッテリーパックのみ充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。その際、ショート防止のため 2 本の電線それぞれの先端にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってください。

お客様ご相談窓口のご案内

❖ 異常や故障が発生したら、次の（1）～（3）の内容をご確認のうえ、「お客様ご相談窓口」までご連絡ください。

（1）使用している機器の名称

（2）ご購入年月日、ご購入先

（3）現在の状態（できるだけ詳細に）

❖ この製品についてのお問い合わせも承ります。

■ PX 型番お客様ご相談窓口

＜ PX 型番お客様ご相談窓口 ＞

◆受付時間◆

9：00 ～ 12：00 ／ 13：00 ～ 17：00

（月曜日から金曜日）

＜土曜日、日曜日、祝日、指定休日を除く＞

東芝　PX 型番周辺機器　国内サポートセンター

TEL　043-270-5055

❖ 保証期間中の修理については、保証書の記載内容により、無料修理いたします。

❖ 保証期間経過後の修理については、「お客様ご相談窓口」までご連絡ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。（修理に代わって同等品と交換させていただくことがあります）

❖ 海外での修理サービスについて

本製品の仕様は日本国内向けとなっておりますので、海外では修理をお受けすることはできません。

修理依頼される場合のお願い

- ❖ 修理はセンドバック（*1）でのみお受けいたしております。お持ち込みでの修理はお受けいたしておりません。
- ❖ お送りいただく場合の送料、包装料は保証期間の有無を問わずにお客様のご負担となります。
- ❖ 保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- ❖ 保証期間経過後の修理については、お見積の必要の有無、または修理費限度額および連絡先を明示のうえ、商品に添付してください。
- ❖ 修理依頼品は緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の包装箱、包装材を推奨します）に入れて、破損しないようにご注意のうえ、お送りください。

*1： センドバック修理サービスとは、修理依頼品を直接送付していただき、修理、動作確認後、ご返却させていただく修理サービスのことです。

● 送付先

東芝　PX 型番周辺機器　国内サポートセンター
〒 261-8580　千葉県千葉市美浜区真砂 5-20-7　TOPS ビル 3F
TEL　043-270-5055

■ お願い

- ❖ 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ❖ 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。
- ❖ 購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
- ❖ 本書の内容について、万が一不可解な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら「お客様ご相談窓口」までご一報ください。
- ❖ 保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

日本国内用です
本製品を使用できるのは日本国内のみです。
This product can not be used in foreign country as designed for Japan only.

お客様ご相談窓口

この製品のアフターサービスは、下記にて承っております。

PX型番お客様ご相談窓口

◆受付時間◆

9:00～12:00　13:00～17:00

土曜、日曜、祝日、指定休日を除く

東芝　PX型番周辺機器
国内サポートセンター

TEL　043-270-5055

MindTune（PX3809N-1ETC）取扱説明書

2010年6月　　A1版発行

発行　株式会社 東芝 デジタルプロダクツ＆ネットワーク社

〒105-8001　東京都港区芝浦一丁目1番1号

©2010 TOSHIBA CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED　　無断複製および転載を禁ず